

令和2年度 教科シラバス（デザイン・アートコース）

教科	美術	科目	表現 I（アート）
単位数	3 単位		
教科書	高校生の美術 2（日本文教出版株式会社）	副教材	なし

学習目標

各人が望む専門分野を見据え、各々が作業に取り組む。自分の専門分野の理解を深めるところから始まり、公募展への出品も積極的に行う。

学習内容

前期（4～9月）	後期（10～2月）
<ul style="list-style-type: none"> ・まずは、自分がやりたいことを見つける。日本画、油絵、彫刻、水彩、アクリル、ミクストメディアなど種類は様々ある。 ・作品として展示が出来るところまで持っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品作りの考えをさらに深める。 ・一度決めた専門分野を変更するかどうかはこの時期を最後にし、受験を見据えた方向へとシフトする。 ・行きたい大学の専門分野に重点を置き、制作する。

学習方法

前期（4～9月）	後期（10～2月）
<ul style="list-style-type: none"> ・自分がやりたいことを見つけ、技法や表現方法を養う。自分が夢中になれる分野が大学の志望先として決まることを想定し、最初から一つに限定、もしくはあまり押し付けはせず、各人のやる気や意志を尊重する。 ・夏には校外展を控えている為、展示会場で飾ることができる作品が完成していることが望ましい。展示をすることで気付くこともあるので、自分の感じたことや反省点を尊重する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・受験を見据え始める。自分が行きたい大学、その大学で何を学びたいのかを明確にし、的を絞って制作していく。ただし、受験絵画とは違い、各人の表現力の向上を重視する。 <p>例) 油画科を受験するために石膏デッサンなどでデッサン力を鍛えなければならないが、それはデッサンの授業で補い、この授業では油絵の具を使って今の自分にしか描けない自由な作品を作る。受験では表現力も採点に入るので、自分なりの表現を膨らませる方向で考える。</p>

評価方法

・出席時数、授業態度、理解を深めたか、成長の度合い、課題作品の完成度。

令和2年度 教科シラバス（デザイン・コース）

教科	表現基礎（デザイン）	科目	
単位数	3単位（1単位）		
教科書	日本文教出版「高校生の美術1」	副教材	なし

学習目標

デザイン分野における物作りの基本を学ぶ。相手を考え、計画し分かりやすく伝達する事を意識しながら作品を制作する。また一連の流れを通して、企画・制作・反省を繰り返しデザイン思考を理解する。

前期（4～9月）	後期（10～2月）
① デザインとは何か ② お気に入りデザインの紹介 ③ オリジナルマーク制作	① 本の表紙イラスト制作 ② ぼち袋制作 ③ スマフォケースデザイン

学習方法

授業	家庭
課題文を良く読み、課題にそった制作を行う事。デザインは相手がいる物なので、ラフや案出しなど、制作は順を追って行い、必ず担当教諭のチェックや指導を受け作業を勧めて行く。また、締切は厳守。制作も決められた時間で完成する様に計画的に行う。	資料収集等を行うこと。

評価方法

課題の内容に沿って工夫し、表現出来ているか。目的がずれていないか。
 丁寧さ・提出期限・作品の完成度等で総合的に判断する。